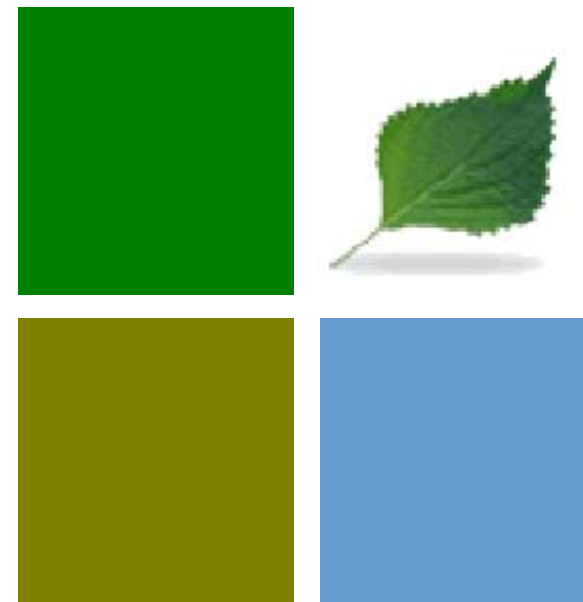




2008年3月期 中間決算説明会

2007年11月22日

www.rikenvitamin.jp

2007/11/19

Agenda

1. 開会

2. 2008年3月期 中間決算の概要

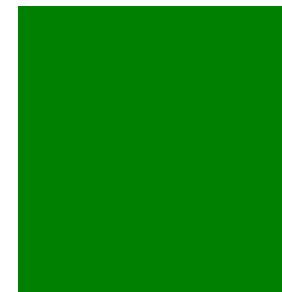
専務取締役 経営企画部長 山下 隆

3. 2008年3月期 下期取組み課題 及び 通期予想

代表取締役社長 堺 美保

4. 質疑応答

5. 閉会



2008年3月 中間決算の概要

2007/11/19

08/3月期 中間決算実績（連結） ーセグメント別売上高ー



単位:億円

セグメント	部門	08/3月期 中間・計画	08/3月期 中間・実績	07/3月期 中間・実績	対 前中間期 増 減
食品事業		352	341	348	△6
	家庭用食品	104	95	103	△8
	業務用食品	60	58	59	△1
	加工食品用原料	95	91	97	△5
	食品用改良剤	91	96	87	+9
化成品事業		31	31	30	+0
ビタミン・その他事業		30	30	30	△0
合 計		415	402	409	△6

08/3月期(中間) セグメント別 増減内訳<1>



〔食品事業〕

前中間期比 **6.8億円減**

〔家庭用食品〕 **△8.6億円**

・わかめ **△4.6億円**
(うち、生食めかぶ **△2.3億円**)

・素材力(無添加だし) **+0.6億円**
・ドレッシング **△0.5億円**
・ノンオイル **△1.2億円**

〔業務用食品〕 **△1.8億円**

・わかめ **△1.5億円**

〔加工食品用原料〕 **△5.7億円**

・青島福生品 **△3.6億円**
(水産加工品)

〔食品用改良剤〕 **+9.3億円**

・国内売上 **+3.4億円**
・海外売上 **+5.9億円**

08/3月期(中間) セグメント別 増減内訳<2>



〔化成品事業〕

前中間期比 0.4億円増

〔国内〕

- ・デジタル家電、自動車部品関係向けの動き鈍るも、オレフィン用添加剤は新規需要開拓により伸長。

〔海外〕

- ・昨年設立の「販売子会社」による韓国/台湾地域での市場開拓が寄与⇒伸長。

〔ビタミン・その他事業〕

前中間期比 0.4億円減

〔ビタミン国内〕

- ・「医薬用」⇒ 前中間期比減
→ 海外品の安価攻勢、医薬/健食メーカー間の価格競争激化の影響。

〔電子精密部品関連〕

- ・IT業界の在庫調整の影響を受け、前年を下回る。

08/3月期 中間決算実績(連結)



単位:億円

	08/3月期 中 間	07/3月期 中 間	増 減 前年差
売 上 高	402	409	△ 6
粗 利 益	119	129	△ 10
販 売 管 理 費	101	109	△ 8
営 業 利 益	17	20	△ 2
経 常 利 益	18	19	△ 1
純 利 益	10	14	△ 3

08/3月期 中間営業利益減少の要因(連結)



〔売上原価〕 3.8億円増

〔原材料費〕 5.5億円増

・キー原材料価格が軒並み上昇

〔外注経費〕 0.4億円減

〔労務費〕 1.5億円減

〔工場経費〕 0.2億円増

・減価償却費 → 0.4億円増

〔販売管理費〕 8.4億円減

・販売促進費 5.8億円減

・広告宣伝費 1.6億円減

・運賃、保管料 0.7億円減

〔◆合計〕 4.6億円減

〔◆売上減〕 6.9億円減



☆前中間期比 **営業利益 2.3億円減**

08/3月期(中間)貸借対照表の主な増減科目(連結)



[資産の部]

単位:億円

科 目	08/3月期 中間期末	07/3月期 期 末	増 減 前期末差
流 動 資 産	464	455	+8
固 定 資 産	474	473	+0
有形固定資産	281	272	+8
無形固定資産	11	10	+0
投資その他	181	190	△8
■ 合 計	938	929	+9

[流動資産]

現預金
△6.9億円

受取手形・売掛金
+7.2億円

有価証券
△5.0億円

たな卸資産
+11.4億円

08/3月期(中間)貸借対照表の主な増減科目(連結)



[負債・純資産の部]

単位:億円

科 目	08/3月期 中間期末	07/3月期 期 末	増 減 前期末差
流 動 負 債	251	254	△2
固 定 負 債	75	72	+2
■ 負債合計	327	327	+0
■ 純資産合計	610	602	+8
■ 合 計	938	929	+9

[流動負債]

支払手形・買掛金
+ 4.0億円

未払金・未払費用
△5.4億円

設備支払手形
△1.9億円

[固定負債]

長期借入金+4.9億円

退給引当金△1.3億円

※ 純資産合計に、少数株主持分を含む

08/3月期(キャッシュフローの状況(連結))



(百万円)

	07/3月期(中間)	08/3月期 中間
営業活動によるキャッシュフロー	4,493	1,472
投資活動によるキャッシュフロー	▲2,720	▲2,841
財務活動によるキャッシュフロー	▲1,551	▲535
現金及び現金同等物の期末残高	10,552	9,137

[08/3月期 中間 キャッシュフローの増減要因]

営業活動	・税金等調整前中間純利益	1,755
	・減価償却費	1,974
	・たな卸資産の増減額	▲894
	・売上債権の増減額	▲711
投資活動	・有形固定資産の取得	▲2,748
財務活動	・短期借入金の増減	339
	・長期借入金の借入・返済	▲478
	・配当金の支払額	▲390

[営業活動]

- ◇営業利益の減少
- ◇理研ビタミン・青島福生食品の「たな卸資産」の増加
- ◇売上債権の増加によりキャッシュは減少。

【売上高】（**402億円** 前中間期比△1.7%、△6.9億円）

***家庭用食品**

「ドレッシング」は前中間期比ほぼ横ばい（微減）で推移するも、
「生食めかぶ」の低迷など「わかめ事業」の不振により、
前中間期を下回る。

***加工食品用原料**

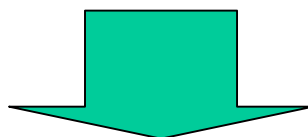
前期まで売上規模を拡大してきた青島福生食品の水産加工
品の減少により、前中間期を下回る。
（中国製品の検査体制が厳しさを増したことに起因）

***食品用改良剤**

販売価格の値上げ実施と積極的な新規需要開拓の結果、
国内・海外ともに前中間期を上回る。

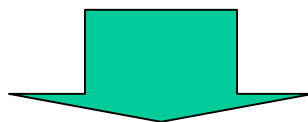
【営業利益】（17.8億円 前中間期比△11.6%、△2.3億円）

＊原油・穀物相場の高騰による原材料購入価格の大幅な上昇
（パーム油、乳糖、グルテン、わかめ原藻 等）



- ①販売価格の値上げ
- ②ローコストプロダクションの推進（製造固定費の圧縮）
- ③販売管理費の削減（販売促進費中心）

にて吸収すべく対応するも



- ①減 収
- ②原材料費上昇＞各費用の削減額 ⇒前中間期を下回る。



理研ビタミン株式会社



2008年3月期 下期取組み課題 及び 通期予想

2007/11/19

- 1)世界経済 ..
- ・**米国**経済の減速懸念
 - ・為替・金利動向等、予断を許さない状況
 - ・**(アジア)**
中国を中心とした**経済成長の継続**
 - ・**(欧州)**
内需拡大により、**成長基調を持続**
- 2)日本経済 ..
- ・景気は緩やかな回復基調のうちに推移
 - ・**原油価格高騰の長期化**
⇒**原材料費の更なる上昇**
- 3)食品業界 ..
- ・**国内食品業界は、激動の時代。**
市場のパイは縮小する中での競争激化

『事業環境』の変化に対応した施策の徹底推進！****

<1> 国内戦略

量的拡大から質的充実へ

◇「新規需要の創造」

◇「新市場の創出」

<2> 海外戦略

◇生産拠点の拡充(能力拡大)

◇グローバルワイドでの開発力強化

◇重点エリア(市場)での販売強化

[1] 生産・開発部門

「ローコストプロダクションの徹底推進」
(代替原料の採用、VA/VE推進)

[2] 営業部門

急激な原料費上昇を見据えた「顧客別販売政策」

⇒製品価格の改定

[3] 営業・開発部門

新たな市場を形成する新商品導入

⇒用途開発 と メニュー提案で、新需要を創る

[4] 国際部門

「改良剤事業」・世界規模での変化・伸長に対応した

生産能力と提案開発力の確保

⇒重点エリアでの販売強化へ

[5] 「選択と集中」

各事業毎に、利益貢献を重視した施策の一層の推進

08/3月期 損益の通期予想 (連結)



単位:億円

	08/3月期 予 想	08/3月期 計 画 (5月公表時)	増 減 計画差	07/3月期 実 績	増 減 前年差
売 上 高	805	825	△ 20	808	△ 3
粗 利 益	233	250	△ 17	244	△ 11
販 売 管 理 費	198	210	△ 12	209	△ 11
営 業 利 益	35	40	△ 5	34	0
経 常 利 益	35	40	△ 5	34	0
純 利 益	22	25	△ 3	20	1

08/3月期 通期予想(連結) ―セグメント別売上高―



単位:億円

セグメント	部門	08/3月期 予 想	08/3月期 計 画 (5月公表時)	増 減 計画差	07/3月期 実 績	増 減 前年差
食品事業		681	698	△ 17	686	△ 5
	家庭用食品	177	191	△ 14	186	△ 9
	業務用食品	119	122	△ 3	119	0
	加工食品用原料	188	194	△ 6	200	△ 12
	食品用改良剤	195	190	5	180	15
化成品事業		63	63	0	61	2
ビタミン・その他事業		60	62	△ 2	60	0
合 計		805	825	△ 20	808	△ 3

〔食品事業〕

前期比 5.5億円減

〔家庭用食品〕 $\Delta 9.2$ 億円

・わかめ製品 $\Delta 7.5$ 億円
(うち、生食めかぶ $\Delta 3.4$ 億円)

・ノンオイル(マヨネーズタイプ)
 $\Delta 1.2$ 億円

〔食品用改良剤〕 $+15.5$ 億円

〔業務用食品〕 $+0.6$ 億円

・わかめ製品 $\Delta 1.9$ 億円
・ドレッシング $+1.0$ 億円
・その他 $+1.5$ 億円

〔加工食品用原料〕 $\Delta 12.4$ 億円

・青島福生品 $\Delta 9.0$ 億円

〔化成品事業〕

前期比 2.5億円増

〔ビタミン・その他事業〕

前期比 ± 0 億円

08/3月期 セグメント別 営業利益 通期予想 (連結)



単位:億円

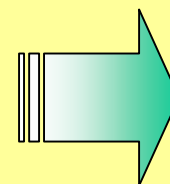
セグメント	08/3月期	通期予想	08/3月期 計画 (5月公表時)		07/3月期 実績	
	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益
食品事業	681	25.5	698	31.0	686	25.8
化成品事業	63	3.4	63	3.0	61	3.2
ビタミン・その他事業	60	5.9	62	6.0	60	5.6
合 計	805	35.0	825	40.0	808	34.7

08/3月期 海外売上高 通期予想



単位: 億円

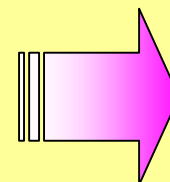
品 群 別	07/3月期・実績	
	売上高	構成比
水産加工・冷凍野菜(青島福生)	52	6.4%
改 良 剤 他	73	9.0%
海 外 ・ 計	125	15.5%
国 内	683	84.5%
連 結 ・ 合 計	808	100.0%



08/3月期・予想	
売上高	構成比
46	5.7%
82	10.2%
128	15.9%
677	84.1%
805	100.0%

地 域 別	06/3月期・実績	
	売上高	構成比
欧 米	70	8.9%
アジア・その他	38	4.8%
海外・計	108	13.7%
国 内	682	86.3%
連結・合計	790	100.0%

07/3月期・実績	
売上高	構成比
79	9.8%
46	5.7%
125	15.5%
683	84.5%
808	100.0%



08/3月期・予想	
売上高	構成比
76	9.4%
52	6.5%
128	15.9%
677	84.1%
805	100.0%

08/3月期 設備投資 と 減価償却費



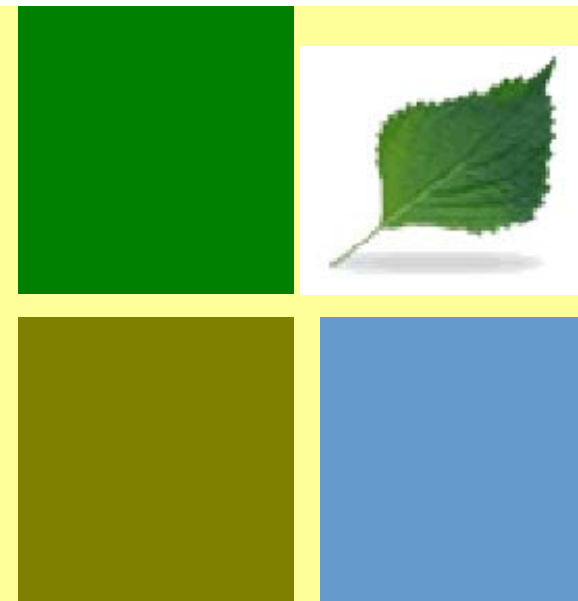
単位:億円

	07/3月期 (実績)	08/3月期 (当期見込み)	前期差
(有形)設備投資額	33.7	47.8	14.1
(有形)減価償却費	38.6	39.5	0.9

<設備計画の主な内訳>

- ◇理研ビタミン .. 11億円 (反応釜の増設 他)
- ◇リケビタ・マレーシア .. 26億円 (高機能蒸留ライン)

この資料には、当社の現在の計画や業績見通しなどが含まれております。それら将来の計画や予想数値などは、現在入手可能な情報をもとに、当社が計画・予測したものであります。実際の業績などは、今後の様々な条件・要素によりこの計画などとは異なる場合があります、この資料はその実現を確約したり、保証するものではありません。



2007/11/19

お問い合わせ先

経営企画部

毛塚、相原まで

TEL 03-5275-5835